

稗田小だより



東京2020オリンピック・パラリンピック ようい、ドン!スクール

2021年、約60年ぶりに日本でオリンピック・パラリンピック大会が開かれます。国では東京2020年に向けて、オリンピック・パラリンピックへの国民の関心を高め、スポーツの価値や効果の再確認を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成するため、全国各地においてオリンピック・パラリンピック教育を推進しています。

そこで、稗田小学校は「東京2020オリンピック・パラリンピック ようい、ドン!スクール」に応募して、教育実践校として認定されました。

具体的には本校では、6月末から7月にかけて4～6年を中心に、次のような4つのねらいで授業を計画・実施しています。



- ①オリンピック・パラリンピックの動画視聴やクイズ、調べ活動をしたりすることで、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について理解する。
- ②実際に聖火リレーに参加する本校職員の〇〇先生の様子をLIVEで応援することを通して、オリパラへの興味関心を高める。
- ③元プロサッカー選手の〇〇先生の経験談を聞くことを通して、夢を諦めず自分の可能性を信じて努力することの大切さ素晴らしさに気づかせる。
- ④スポーツ集会や運動会を通して、スポーツを楽しむ心を育む。



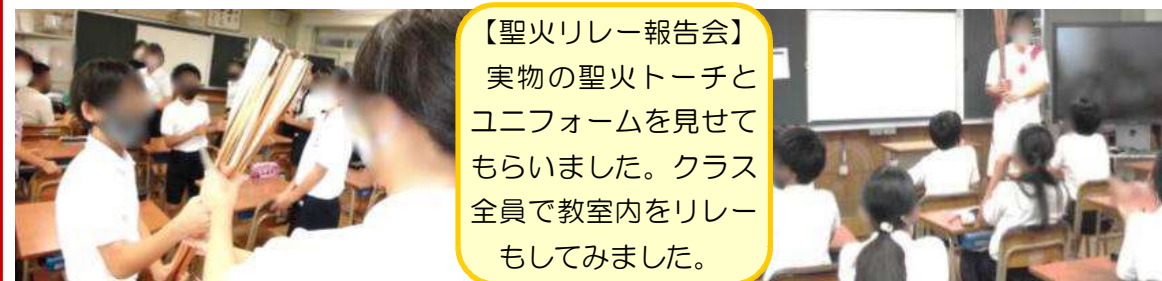
〇〇先生がスポーツに関わってきた思いを聞かせてもらう6年生



7月5日聖火リレーをする先生を全校みんなで教室から応援

【事前学習後の感想】

- 〇一万人の聖火ランナーの内の一人がこんなに身近にいるとはびっくりした。
- 〇〇〇先生が言っていたように夢をあきらめないということが大切と分かった。自分も強くなって、〇〇先生とサッカーをしたいと思った。
- 〇ブラジル生活での日記を見せてもらう中で、先生が夢のために積み重ねた努力はすごいと感じた。
- 〇オリンピック・パラリンピックについて興味がわいてきた。もっと知りたい。
- 〇月曜日に走る〇〇先生を応援します。頑張れ!!



【聖火リレー報告会】

実物の聖火トーチとユニフォームを見せてもらいました。クラス全員で教室をリレーもしてみました。

【報告会後の感想】

- 〇大事なトーチを持たせてもらって感動した。
- 〇予めポルトガル語を覚えてブラジルに行ったのではないと知って、すごいチャレンジをしたんだと思った。
- 〇先生はブラジルの人にとっても愛されていて、世界とつながっているすごいなと思った。
- 〇私は叶えたい夢があるから、これからもっと努力しようと思った。
- 〇夢を見つけたら一直線に進んでいきたい。



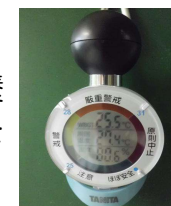
※今後学年に応じて、オリンピック・パラリンピックについての調べ学習のまとめや、福祉学習へと発展していきます。
※本事業の助成金で体力アップを目指した活動のストラックアウト遊具や鉄棒運動補助具、ボッチャ等を購入しました。集会や体育の学習等で活用していきたいと思えます。



～熱中症に気を付けて～



梅雨明けとともに、熱中症が心配されます。稗田小学校では、養護教諭と保健委員会（5、6年）とが中心になり、写真のようなモニターを使って、暑さ指数（WBGT）を測定しています。そして、外遊びの時間制限や水分補給を呼びかける放送をしています。登下校や自宅で遊ぶときにも、暑さ対策をしましょう。



熱中症モニター

夏休みは、7月21日～8月24日までです。学校からの「夏休みのしおり」や学年通信をお子様と一緒に確認されて、安全で楽しい夏休みにしてください。